

創造的技術開発を確実に・迅速に行う！

モノづくり技術者のための創造性を獲得・発揮する！

欧米／日本／韓国で確実に普及！

EL-5665



TRIZ/USITの 考え方と導入セミナー



TRIZ:

旧ソ連で開発された発明の技法。過去の膨大な特許（200万件）を分析して、分野を越えたアイデアのエッセンスを抽出し、発明の原理とそのための思考方法を体系化した理論。冷戦後、米国で支援ソフトが開発され、現在欧米・日・韓を中心に製造業や研究開発機関に広がっている。

USIT:

Unified Structured Inventive Thinking の略。1995年に米国フォード社・シカフス博士が開発し、同社の技術開発の創造的解決に多くの実績を上げてきた。TRIZを新しく、かつ、やさしくして問題解決プロセスとして組み上げた統合的構造化発明思考法。

開催日

2003年10月31日（金） 10:00～17:00

会場

NTT麻布セミナーハウス 5階 503
（港区南麻布4-5-63 TEL:フリーダイヤル0120-128-028）

講師

中川 徹 大阪学院大学 情報学部 教授

【プロフィール】

1963年東京大学理学部化学科を卒業後、同大学院博士課程に進み'67年に同大学助手に。その後、'80年に富士通・国際情報社会科学研究所に入り、'97年に富士通研究所・企画調査室主席部長などを経て、'98年から大阪学院大学に移る。'97年に初めてTRIZに接して以来、その導入普及に尽力している日本のTRIZ研究の第一人者。'98年に公共的サイト「TRIZホームページ」を創設、その編集者をつとめる。また、標記シカフス博士と協力しつつ、USIT技法の改良・普及を進めている。

ねらい

日本の産業界はかつてない企業淘汰の時代へ突入し、市場は飽和状態にある中で、企業が売上を拡大し競争力を回復するためには、新製品・新技術・新サービスの開発が急務となっています。

そのために、モノづくりに携わる技術者にとっては、「開発期間短縮」や「開発コスト低減」といった従来の課題に加え、本来の役割である「新製品・新技術の開発」と、それを達成するための「技術者自身の創造性の獲得と発揮」という本質的な課題に取り組むことが企業の最重要問題となっています。

そこで本研修会では、技術分野で創造性を確実に獲得し発揮していくための新しい技法として、TRIZ(トリーズ)とそれをやさしくしたUSIT(ユースITT)を紹介いたします。従来の創造性技法が発想を刺激するノウハウのレベルであったのに対して、この新しい技法は、多数の特許の内容分析から出発した深い技術思想を持ち、多くの知識ベースツールを備えています。懸案の技術課題について、そのシステムと問題を分析し、矛盾を本質的に解決してブレークスルーを目指す技法です。本研修会では、創造性技法の必要性をしっかりと捉えた上で、問題を捉え・分析し、解決するプロセスに従って、TRIZ・USITを初歩から解説するとともに、その実際の活用法についてもご紹介いたします。

対象

研究・開発・企画・技術・設計・製造・品質保証・知的財産権部門の技術者およびマネジャーの方がた

プログラム

（昼食休憩 12:00～13:00）

時間	内容
10:00	1. 導入:TRIZ/USITの概要と本セミナーの趣旨 2. 技術革新と創造性のための発想とは何だろう ・ 試行錯誤しつつひらめきを待つのか ・ 自由奔放だけでは技術改革が進まない ・ 野口悠紀雄の『「超」発想法』には技法がない ・ 心理的惰性の除き方(TRIZ)
}	3. 問題を捉える ・ 問題を捉えて絞り込む(USIT) ・ システムとしての思考
	4. 問題を分析する ・ 問題(困ったこと)の原因をつきとめる ・ 原因-結果のネットワークによる表現とその利用法 (TRIZ) ・ 技術システムの機能の分析 (TRIZ) ・ 技術システムの機能と属性の分析(USIT) ・ 空間と時間による特性の分析(USIT) ・ 技術システムの「理想性」(TRIZ) ・ 理想をまずイメージして分析する方法(TRIZ, USIT)
}	5. 解決策を生成する ・ 問題解決の基本モデルと知識ベースの活用(TRIZ) ・ 技術システムの進化のトレンド(TRIZ) ・ 技術の逆引き: 目標機能から実現手段を求める(TRIZ) ・ 発明の原理と矛盾マトリックスの利用(TRIZ) ・ 矛盾の克服のための分離原理(TRIZ) ・ 解決策を生成する技法の簡潔な体系(USIT)
	6. まとめ ・ 創造的問題解決プロセスUSITのフローチャート ・ 新しい技術思想TRIZの全体像と学び方 ・ TRIZ・USITのソフトツール、教科書、プロモータなどの現状 ・ TRIZ・USITの企業導入状況(欧米、日本、韓国など) ・ TRIZ・USITの企業導入へのアドバイス
17:00	

* プログラムは変更させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。

設備管理全国大会【TPM Conference 2003】

開催日:2003年11月19日(水)～20日(木)

会場:名古屋国際会議場(名古屋市熱田区)

開催



社団法人 日本プラントメンテナンス協会

Japan Institute of Plant Maintenance

URL: <http://www.jipm.or.jp/news/index.html>

お申し込みはファックスで 0120-097-580

(つながりにくい場合は03-3433-8666)

参加申込規定

参加料

(社)日本プラントメンテナンス協会 正会員 (事業場単位)	21,000円 / 1名(税込) (本体価格20,000円 消費税1,000円)
上記会員外	24,150円 / 1名(税込) (本体価格23,000円 消費税1,150円)

参加料には、テキスト(資料)代、昼食代が含まれております。

会員外の方は、この機会にぜひ当会への入会をご検討ください。

参加お申込み方法・参加料お支払い方法

- 下記申込書に必要事項をご記入のうえ、ファクシミリにてご送付ください。電話のみでのお申込みは受け付けていたしておりません。
- 開催の約 2 週間前より、参加派遣窓口担当者様宛に参加証と請求書を送付いたしますので、請求書が届き次第、当会指定の銀行口座にお振り込みください。なお、振込手数料は貴社にてご負担ください。

お願い・お断り

- 録音・録画に使用する機材の持ち込みをお断りいたします。
- ご参加予定の方が当日お越しになれない場合は代理の方がご参加ください。代理の方の参加も不可能な場合は、下記の規定によりキャンセル料を申し受けますのであらかじめご了承ください(キャンセルはファクシミリでのみ受け付けいたします)。

開催当日および前日の参加取消し.....参加料全額
(参加料入金済の場合、返金をいたしません)

開催の2日前～7日前の参加取消し.....参加料の30%
(参加料入金済の場合、70%を返金いたします)

いずれも土日曜・祝祭日を含みません

<参考> 宿泊施設のご案内
ビジネス・ホテル予約センター 電話03-3355-0909
(予約の代行業務を行っています)

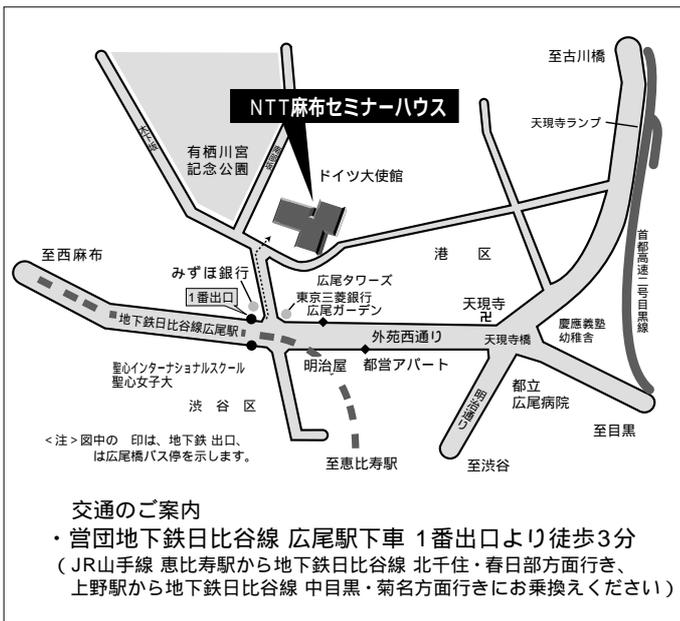
申込み、問合せ先

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-38
秀和芝公園三丁目ビル 5階
社団法人 日本プラントメンテナンス協会 事務センター
電話 ☎ 0120-096-580

つながりにくい場合は 03-3433-0351
セミナーお申込み・お問合せ専用番号

主催支部 東京支部

会場案内 NTT麻布セミナーハウス5階 503号室
東京都港区南麻布4-5-63
フリーダイヤル0120-128028



(注)太線の枠内をご記入ください。

請求書と参加証は派遣窓口担当者様あてに送付いたします。それ以外をご希望の場合は備考欄にご記入ください。

EL-5665 東京支部	<h2>TRIZ/USITの考え方と導入セミナー</h2>	2003年10月31日(金)
JIPM正会員 (事業場単位)	所属支部	会員NO.
上記会員外		
ふりがな	ふりがな	備考欄
会社名	事業場名	
所在地	〒	
TEL ()	FAX ()	
ふりがな	所属	
派遣窓口	役職名	
担当者名		
ふりがな	所属	
氏名	役職名	
ふりがな	所属	
氏名	役職名	
(社)日本プラントメンテナンス協会への連絡・希望事項		
お支払い予定日	月	日
(貴社の事情により参加料のお支払いが開催後になる場合はご記入ください。)		
参加料	正会員	合計
(税込)	21,000円 × ()名	円
(税込)	上記会員外	円
(税込)	24,150円 × ()名	円
受	付	参加登録
請求登録	発	送

参加申込書